



2023年5月11日

各 位

会 社 名 水道機工株式会社  
代 表 者 代表取締役社長 古川 徹  
(コード番号 6403)  
問合せ先責任者 専務取締役 丸山 広記  
(TEL 03-3426-2131)

### 営業外収益並びに営業外費用発生に関するお知らせ

当社は、2023年3月期連結決算並びに個別決算において、営業外収益として貸倒引当金戻入額、営業外費用として持分法による投資損失（連結決算）、債務保証損失引当金繰入額（個別決算）をそれぞれ計上することとしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 営業外収益並びに営業外費用発生の概要

##### (1) 営業外収益としての貸倒引当金戻入額の概要

当社は、2年前となる2021年5月11日開示の「特別損失（貸倒引当金繰入額）計上に関するお知らせ」にて開示の通り、貸付金返済遅延の状況等を踏まえ2021年3月期におきまして4億76百万円の貸倒引当金繰入額の計上を行いました。貸付金返済に関する和解調停の結果、返済が再開いたしました。この返済は、2022年11月から2023年12月までの期間に定期的に返済を再開するものであり、当該期間において、貸付金の返済額に従い貸倒引当金戻入額が発生することとなります。2023年3月期においては、1億76百万円が返済されたため、連結決算並びに個別決算において同額を貸倒引当金戻入額として営業外収益を計上いたしました。

##### (2) 営業外費用としての持分法による投資損失並びに債務保証損失引当金繰入額の概要

当社は、持分法適用関連会社である在サウジアラビア国のSuido Kiko Middle East（以下、SKME社、当社出資比率49%）が締結する工事請負契約に関し、現地金融機関が発行する銀行保証等に対して債務保証を行っております。

SKME社の業績につきましては、工事完工および引き渡しまでに必要な追加コストの発生、並びに顧客からの債権回収期間長期化による貸倒引当金の追加繰入発生等により財務状況が悪化し、2022年3月期に債務超過となりました。本連結累計期間におきましてもSKME社では、引き続き契約工事の完工および引渡しを進める一方で、所要の販売費及び一般管理費並びに金融費用が発生した他、回収の遅延している滞留債権に対する引当により2023年3月期において債務超過額が5億10百万円増加しました。（2022年3月期における債務超過に関する内容につきましては、2022年5月12日付「営業外費用発生に関するお知らせ」をご高覧下さい。）

このような状況下で、SKME社の財政状態並びに当社の債務保証差し入れ状況を勘案し当社の債務超過負担額を見積った結果、2023年3月期においてSKME社の債務超過増加額5億10百万円全額を当社負担として、連結決算において持分法による投資損失、個別決算において債務保証損失引当金繰入額としてそれぞれ営業外費用を計上いたしました。

#### 2. 業績への影響

2023年3月期連結決算並びに個別決算への影響につきましては、本日公表の「2023年3月期決算短信」へ反映したうえで、業績を公表しております。

### 3. 今後の見通し

#### (1) 貸倒引当金戻入額について

今後 2023 年 12 月までの返済期間における返済額に従って、2024 年 3 月期の連結決算並びに個別決算において貸倒引当金戻入額として営業外収益を計上する見込みです。

#### (2) SKME 社事業概況ならびに当社持分法による投資損失等について

SKME 社が請け負った建設工事について、顧客への引き渡しまでの契約上の義務を確実に履行させることが、不測のリスクを回避することに繋がるため、当社は、債務保証の継続により、SKME 社が抱える工事案件の完工・引き渡しを順次進めてまいりました。その結果、2023 年 3 月期末において主要な施工中工事案件は残り 1 件となりました。更に施工中案件の早期完工に向け、既に現地パートナーとの間で出資比率に基づく資金支援の再開を合意し、2023 年度内の完工、2024 年度内の運転管理終了、引き渡しを行う予定としております。

なお、債務超過となる SKME 社への資金支援が実行された場合、融資年度中において貸倒引当金繰入等の営業外費用の発生が予測されますが、SKME 社において滞留債権の回収や固定費削減等の損失極小化のための施策を実行させながら、工事完了・引き渡しに向けて取り組んで参ります。

#### (3) 当社の保証負担について

現在、当社が全額を負担する債務保証については、工事進捗に応じた減額及び現地パートナーの出資比率に応じた保証差入によりリスク低減を図るべく、その実現に向け協議交渉に努めております。

#### (4) 今後の方針について

今後、サウジアラビア国内の関連法令に基づくカントリーリスク等の回避のためには、契約済み工事の完工・引き渡しを、顧客との合意期限迄に確実に行う必要があるため、現地パートナーと出資比率に基づき協同でそれら工事の完工・引き渡しに必要な支援を行います。その上で、全ての契約済み工事の引き渡し完了に目途がつき次第、サウジアラビア事業からの具体的な撤退手法を検討して参ります。当社としましては本方針を踏まえ、引き続き SKME 社の経営管理を強化し、損失額の圧縮並びに現地パートナーによる保証差入等を通じた債務保証リスクの極小化に向けて取り組んで参る所存です。

#### (5) 2024 年 3 月期連結業績への影響について

当社の SKME 社に対する未引当の債務保証額は、2023 年 3 月期末時点で 11 億 40 百万円(2023 年 3 月期末換算レートベース)となりますが、未引当の債務保証額残高に対し今後の債務超過額の増減発生や資金支援実行により業績へ影響を与える可能性があります。

本日付け 2023 年 3 月期決算短信において、2024 年 3 月期連結業績予想として、上記記載の営業外収益並びに営業外費用について現時点での影響額を考慮し公表しております。

以上